

は し が き

1. 本報告書は、平成13年度に当研究所が行った「中東諸国の選挙制度と政党」研究会の研究成果をとりまとめたものである。
2. 90年代以降、多くの中東諸国において民主化または政治的自由化の措置がとられ、複数政党制の導入や普通選挙の実施などが相次いだ。しかし、その選挙や政党に関わる制度については不明の点が多く、また議会で議席を獲得する主要政党に関する基本的情報も少ない。それゆえ、それらの制度や政党を調査するとともに、至近の選挙結果を分析することにより、対象諸国の政治状況に対する評価を行なうことを、研究会の目的とした。
3. 本研究の実施に当たっては、以下の委員を中心に研究会合を重ねた。

主 査：	小杉 泰	京都大学大学院教授
委 員：	臼杵 陽	国立民族博物館教授
	北澤 義之	京都産業大学外国語学部助教授
	澤江 史子	一橋大学大学院博士課程
	谷垣 博保	外務省国際情報局調査室事務官
	福田 邦夫	明治大学商学部教授
	松永 泰行	日本大学国際関係学部専任講師
委員兼幹事：	松本 弘	日本国際問題研究所主任研究員
担当助手：	真下 陽子	日本国際問題研究所研究助手
4. ここに表明されている見解は全て個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではないが、近年の大きな国際変化と今後の展望を考察する上で貴重な資料となりうることを期待する。
5. 最後に、本研究に終始積極的に取り組まれ、本報告書の作成にご尽力いただいた研究主査および委員、ならびにその過程でご協力いただいた外務省国際情報局他関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表すものである。

平成14年3月

財団法人 日本国際問題研究所
理事長 小和田 恆